

新ワーク 理科 を使ったテスト勉強の進め方

理科では、教科書が新しくなるたびに、扱われる実験方法や、太字扱いの語句、側注扱いの語句などについて、教科書ごとの差が大きくなっています。

新ワークでは、すべての教科書を比較することで、各教科書で最もよく出題される内容と、扱いは小さくとも出題される内容をしっかり分析しました。定期テストでより高得点を狙えるように、様々な工夫を盛り込んでいます。

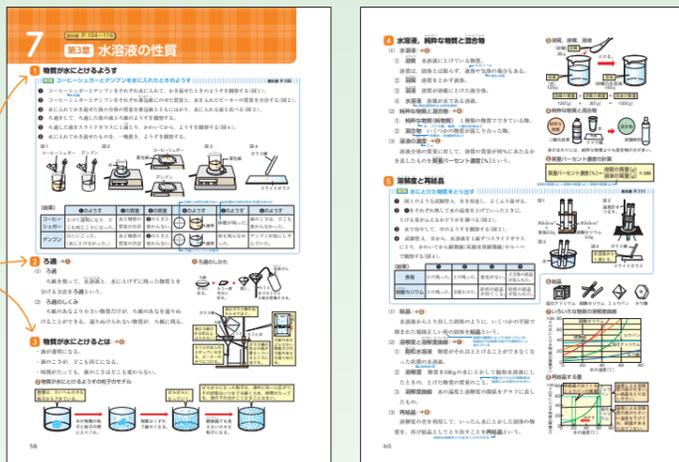
1 テスト範囲の内容確認

● 要点のまとめ

「要点のまとめ」では、教科書の重要事項を、フルカラーの図や表を用いて、理解しやすくまとめています。

内容のまとめごとにブロックに分け、箇条書きで知識を整理

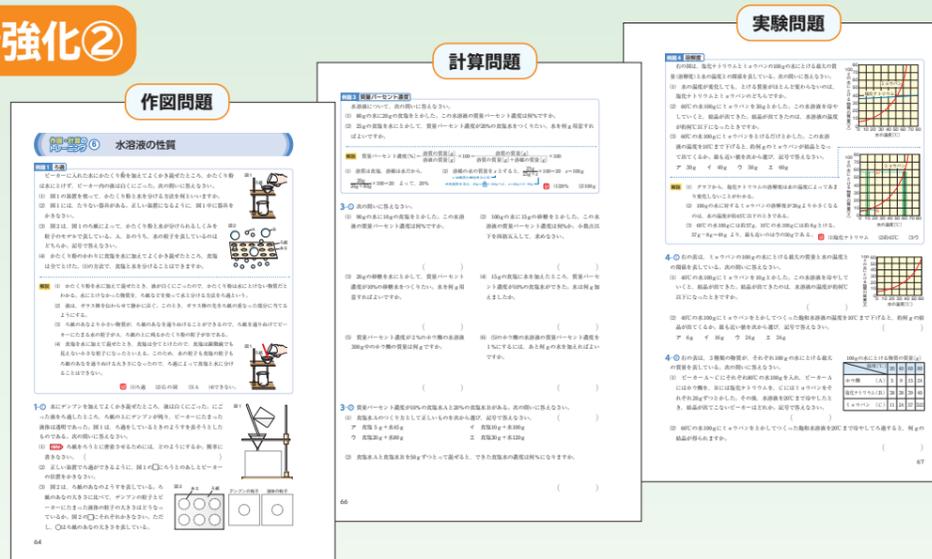
重要な実験・観察を、「方法・結果・考察」がわかりやすいように整理



問題演習で定着強化②

● トレーニング

定期テストによく出る計算・作図の問題や、実験・観察の問題を、例題+類題の形式で演習します。繰り返し解くことで、解き方を定着させます。



2 基本事項の反復練習

● 確認問題

「確認問題」では、重要事項を一問一答で確認します。

● 別冊 定期テスト得点UPトレーニング

各単元の重要事項を、「図表整理」と「重要語句」で集中的に反復練習します。



要点のまとめのブロックごとに、重要事項を一問一答で確認

練習問題との対応を表示

図表整理
図や表への穴埋めで、
知識の整理をする

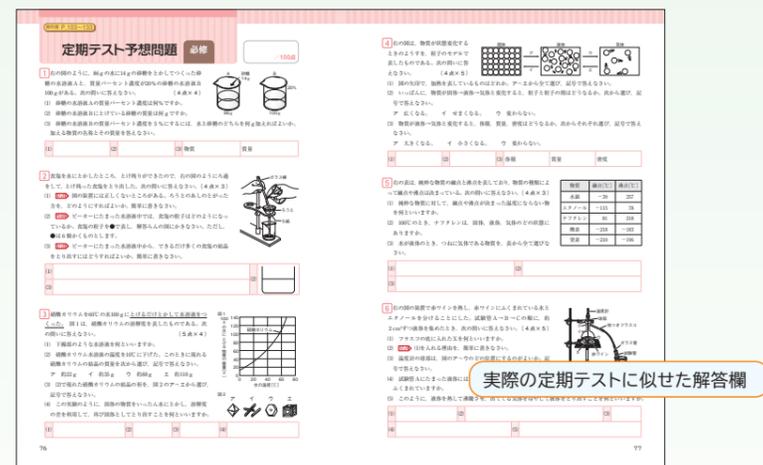
重要語句
一問一答で知識の確認
☆印は、教科書太字用語
など、より重要な問題

記述でも問われる重要語句は、
記述形式でも練習

4 予想問題で仕上げる

● 定期テスト予想問題<必修>

「定期テスト予想問題 必修」は、定期テストでよく問われる内容のうち、基礎～標準的な内容で構成されています。すべて、確実に解けるようにしておきたい問題です。

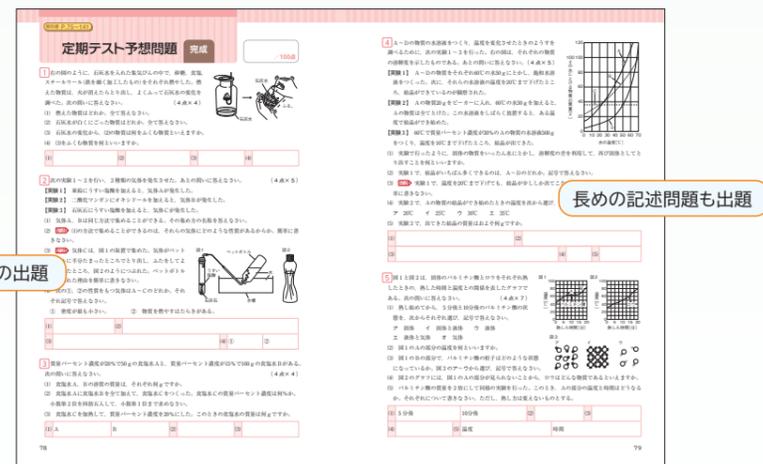


実際の定期テストに似せた解答欄

● 定期テスト予想問題<完成>

「定期テスト予想問題 完成」は、実験・観察形式の出題や、考察を必要とする問題など、実戦的な力を必要とします。より高得点を狙うには、このテストの問題が解ける力を身につけておく必要があります。

実験・観察形式の出題



長めの記述問題も出題

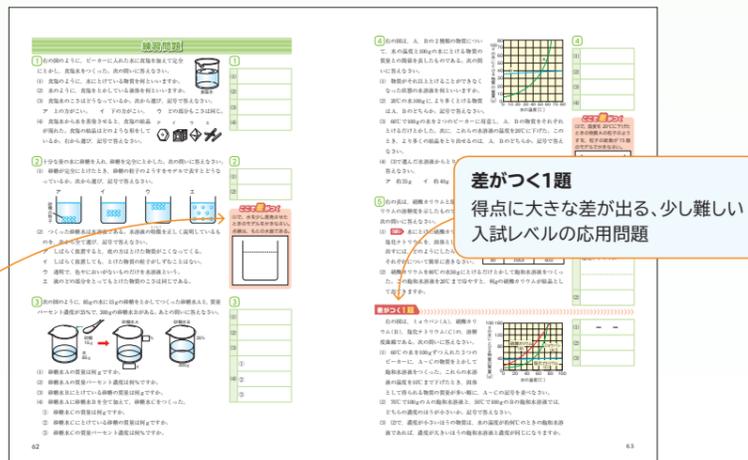
3 問題演習で定着強化①

● 練習問題

要点のまとめ・確認問題で学習した内容を、大問形式で演習します。定期テストによく出る重要問題のみで構成しています。

ここで差がつく

教科書の章末などで扱われている少し難しい内容や、教科書では側注扱いだが、定期テストには出る内容。この問題が解けるか解けないかで、得点に差が出る。



差が<1題
得点に大きな差が出る、少し難しい
入試レベルの応用問題

5 最後の見直し

別冊「定期テスト 得点UPトレーニング」の図表整理と重要語句は、すべて解けるようになるまで繰り返し解き、特に☆印の問題は完璧にします。本誌「トレーニング」は、例題を見ずに類題が解けるようになるまで、繰り返し演習します。